

# REPORT

## シームレス教育

— 卒前から卒後へ —

鹿兒島医療技術専門学校 × 博愛会 相良病院

### 概要

当校では、男女問わず全ての学生に質の高い専門教育を提供したいという想いがあります。今回、社会医療法人 博愛会 相良病院様と連携し、2年生を対象に乳がん検査（マンモグラフィ、超音波検査）の講義・実習を病院にて実施しました。

この取り組みは、女性特有の検査に関する深い学びを全学生に提供するという教育者としての想いが原点です。

相良病院様のご協力により、“性差のない教育”の実現と臨床に直結する高度な専門知識や技術を学ぶ機会となりました。



### 指導者の想い



#### 大迫 俊一

相良病院  
放射線技術部  
部長

当院は乳がん専門病院であり高い超音波技術が求められており、新人教育ではファントムを活用した基礎的な教育から始めています。より高いスキルを持つ学生を育成することで、将来的に多くの乳がん患者さまを救うことにつながると考えています。

今回初の試みとして、学生にも実機とファントムを用いた実習を実施しました。学生も病院での実習が刺激的だったのか熱心に取り組んでくれました。ファントムには病変も設置されているため、手順やプローブ走査方法だけでなく、症例の知識も学びながら継続してトレーニングしてもらうことを願っています。



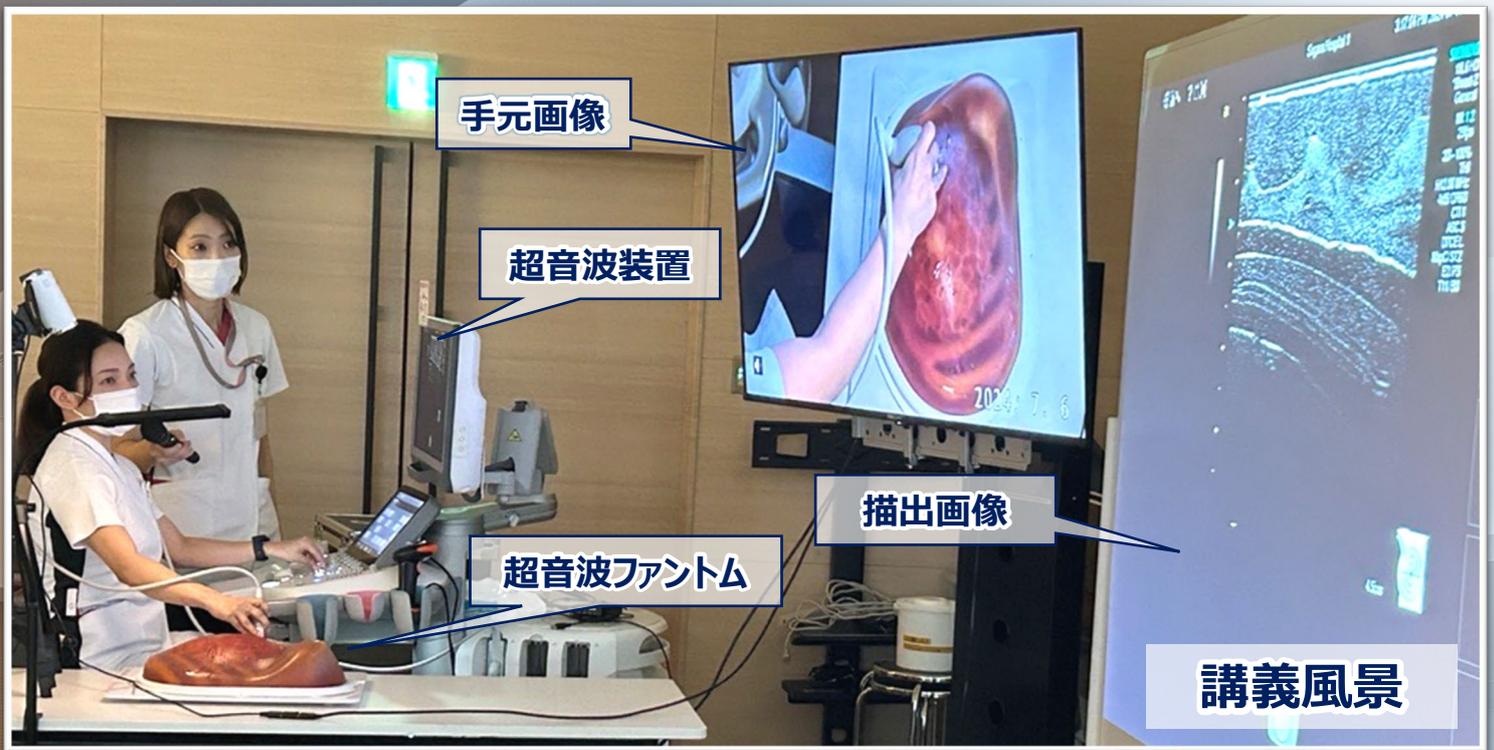
#### 東 幸浩

鹿兒島医療技術専門学校  
診療放射線技術学科  
学科長

地域に貢献できるスペシャリストを育成するため、2年生を対象に相良病院様と連携し、講義・実習を行いました。今回は基礎教育としてトレーニング用ベストやファントムを活用しました。実習後は手技の復習ができるよう映像教材（YouTube）※を学生に案内しました。病変に対するプローブ走査が分かりやすい画面構成になっているため、学内実習でも活用したいと思います。

この実習を通じて、女子学生はもちろん、男子学生にとっても将来の業務への理解や女性患者さまへの配慮などの意識が高まることを期待しています。

※映像教材は裏面に記載されております。



手元画像

超音波装置

超音波ファントム

描出画像

講義風景

## ■ 実習内容



講義

学生40名に対してマンモグラフィーと超音波検査について講義



超音波検査

実機と超音波ファントムを用いたプローブ走査の実習



マンモグラフィ

実機とトレーニングファントムを用いたポジショニングの実習

## ■ 学生の声

- 今回の相良病院での講義・実習は非常に有意義な経験でした。  
実際にやってみることで、座学では学べないことがたくさんあり、力加減や手の使い方、うまく撮影するためのコツなど学ぶことができる貴重な機会となりました。
- 実際の手技を通じて、乳がん検診の重要性を改めて実感しました。  
診療放射線技師としての役割や患者さまとのコミュニケーションの大切さを学びました。  
特に、検査するときは、細やかな配慮が患者さまの不安を軽減することが大事だと学びました。  
専門知識や技術を向上させて、地域に貢献できるスペシャリストを目指します。

## 映像教材 (YouTube無料公開中)



のう胞



☞ 探触子 (位置・角度) 走査の把握

☞ いつでもどこでも学習 (予習・復習)